

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 26 日

京都市長 宛

## 提出者

住 所 香川県高松市鶴市町1番地

氏 名 バンドーレテック株式会社 代表取締役社長 板東 仁成

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 087-882-8186

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

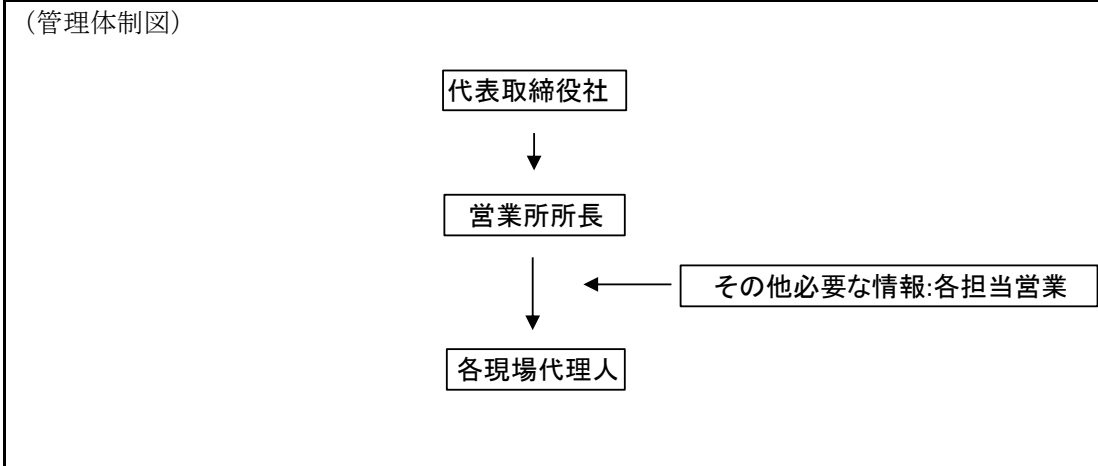
事業場の名称	バンドーレテック株式会社 大阪営業所（京都市内一円工事）
事業場の所在地	大阪府大阪市中央区北浜2-1-13 北浜藤浪ビル3階
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

## 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 3000万円
③ 従業員数	9人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設リサイクル法における分別解体のとおり。 屋根葺き材、内装仕上げ材の先行撤去を行い廃棄物の種類毎に搬出。 躯体、基礎をそれぞれ解体後、小割、分別しながら搬出。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	排出量	t t
	(これまでに実施した取組) 有価物の現場分別、回収。 建設リサイクル法遵守。 電子マニフェスト利用による作業の効率化。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	排出量	t t
	(今後実施する予定の取組) 管理及び法遵守	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 屋根葺き材、内装仕上げ材の先行撤去を行い廃棄物の種類毎に搬出
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、分別しながら搬出を行う。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t t
	（これまでに実施した取組） 金属類などの直接有価対象物を除き、解体に伴う発生材は現場再利用困難物と判断されるため、基本的に全数産廃処分している。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、金属類などの直接有価対象物を除き、解体に伴う発生材は現場再利用困難物と判断されるため、基本的に全数産廃処分している。	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t t
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t t
（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（ 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（ 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	別紙集計用シートのとおり t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) 委託先の現地確認を実施している。	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙集計用シートのとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 可能な限り、優良認定処理業者へ委託する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書の【集計用シート】

- ・下表にない種類の産業廃棄物については、「産業廃棄物の種類」欄に、品目名を記載してください。
- ・行が不足すれば、適宜追加してください。

産業廃棄物の種類	① 排出量(A)		② 自ら資源再生利用した量(B)		③ 自己資源降伏処分又は海外投入処分した量(C)		④ 自ら中間処理した量(D)		⑤ そのうち無届収を行った量(E)		⑥ 自ら中間処理した後の焼却量(F)		⑦ 自ら中間処理した後の焼却量(G)		⑧ 自ら中間処理した後の焼却量(H)		⑨ 自ら中間処理した後の焼却量(I)		⑩ 自ら中間処理した後の焼却量(J)		⑪ 自ら中間処理した後の焼却量(K)		⑫ 自ら中間処理した後の焼却量(L)		⑬ 自ら中間処理した後の焼却量(M)		⑭ 自ら中間処理した後の焼却量(N)		⑮ 自ら中間処理した後の焼却量(O)		⑯ 自ら中間処理した後の焼却量(P)		⑰ 自ら中間処理した後の焼却量(Q)		⑱ 自ら中間処理した後の焼却量(R)																			
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標																		
																																					⑰ 自ら中間処理した後の焼却量		⑱ 自ら中間処理した後の焼却量		⑲ 自ら中間処理した後の焼却量		⑳ 自ら中間処理した後の焼却量		㉑ 自ら中間処理した後の焼却量		㉒ 自ら中間処理した後の焼却量		㉓ 自ら中間処理した後の焼却量		㉔ 自ら中間処理した後の焼却量		㉕ 自ら中間処理した後の焼却量	
燃え殻												0	0																										0	0	0	0												
汚泥												0	0																												0	0	0	0										
廃油												0	0																														0	0	0	0								
廃酸												0	0																															0	0	0	0							
廃アルカリ												0	0																																0	0	0	0						
廃プラスチック類	1											0	0															1																			0	0	0	0				
ゴムくず												0	0																																		0	0	0	0				
金属くず												0	0																																			0	0	0	0			
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず												0	0																																			0	0	0	0			
紙くず												0	0																																			0	0	0	0			
プラスチック												0	0																																			0	0	0	0			
がれき類												0	0																																			0	0	0	0			
ばいじん												0	0																																			0	0	0	0			
紙くず												0	0																																			0	0	0	0			
木くず	8											0	0			8	0																														0	0	0	0				
繊維くず												0	0																																			0	0	0	0			
動植物性残渣												0	0																																			0	0	0	0			
動物系固形不要物												0	0																																			0	0	0	0			
石綿含有産業廃棄物	2											0	0			2	0																															0	0	0	0			
廃石膏ボード	14											0	0			14	0																																	0	0	0	0	
混合廃棄物(安定型)												0	0																																						0	0	0	0
混合廃棄物(管理型)	15											0	0			15	0																																		0	0	0	0
コンクリートがら	1,743											0	0			1,743	0	1,743										15																					0	0	0	0		
アスファルトコンクリートがら	20											0	0			20	0	20																															0	0	0	0		
合計	1,803	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,803	0	1,763	0	0	0	0	0	0	0	0	15																				20	0	0	0	0			

(注)トン未満は原形として四捨五入。ただし、数字が無効であれば小数点以下3桁まで記載は可。